



鈴蘭台駅周辺整備を考える会

発行 平成8年11月12日 編集 鈴蘭台駅周辺整備を考える会事務局

ニュース
第6号

● 交通量調査を行いました!!

去る4月19日に、鈴蘭台駅周辺で交通量調査を行いました。遅ればせながら、その調査結果がまとまりましたので、ニュースでお知らせいたします。

事務局では、非常に興味深い結果が得られたと感じていますが、皆さんのご感想はどうでしょうか？

調査の目的

- ・ 鈴蘭台の周辺では、阪神高速北神戸線、新神戸トンネルなどの道路整備が進み、また長田箕谷線も開通したことで広い地域と結ばれる状況が整いつつあります。
- ・ しかし、駅周辺のまちは、道路などが未整備で、駅周辺へ人を引き寄せる事だけでなく、地域の生活にも不便な状況が残っています。
- ・ 将来の鈴蘭台を支える道路網のあり方を考え、魅力的で便利な駅周辺整備の実現を目指すために、今回の交通量調査を行いました。

総評

- ・ 現状の道路網では、駅周辺に集まってくる自動車が円滑に流れない状態になっています。また、通勤や通学などで歩行者も集中する交差点では、自動車と輻輳する状況が見うけられ、大変危険に感じました。
- ・ 駅周辺の路上駐停車により、混雑に一層拍車をかけていると思われます。
- ・ とくに駅前では、バス、タクシーのUターン、通勤・通学のラッシュ、送り迎えの自家用車の寄りつきが重なると、大変な状況になっています。
- ・ 一方、線路沿いの道路などの混雑状況は、時間別にも比較的一定であり、通勤・通学・買い物などに利用されている地域内道路として使われている様子がわかります。



●自動車で込み合う鈴蘭台駅前の様子